

令和7年第2回（2月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	◎ 佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて 【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案 (1) 国連の掲げる持続可能な目標、SDGsサステナブル・デベロップメント・ゴールズ（～2030年）の後、SWG sサステナブル・ウェルビーイング・ゴールズ（～2045年）となる可能性への対応について ① 市民のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の実現から皆伐・再造林の植えるビーイングへ ② 森林環境譲与税による森に親しむ活動の推進 ③ 森林資源を活用した商品開発及びふるさと納税の返礼品づくり ④ 森林経営管理制度の強化及び4つの森林組合の統合推進 (2) 世界文化遺産「佐渡島（さど）の金山」活用元年としての文化観光地域づくりの推進について ① 持続可能な官民の組織体制 ② 佐渡汽船ターミナルビル及び船内でのストリートピアノの実現 ③ ボランティアツーリズム、SDGs ツーリズムの推進 ④ 対馬モデルに倣った海洋プラスチック問題の改善及び3Rの推進 ⑤ 佐渡市の石として赤玉石の登録を実現すること及びTOKYO TO ORCHでの展示へ (3) 新潟県と緊密に連携した持続可能な佐渡づくりについて ① 世界文化遺産登録された7月27日を記念日とする県条例の制定に向けて ② 新潟県拉致問題等の啓発の推進に関する条例の制定を踏まえた佐渡市の対応 ③ 会津財布やまちのコインに倣った地域電子マネー佐渡小判（仮称）もしくは新潟県と連携した越佐小判（仮称）の導入 (4) 姉妹都市、対岸市、連携協定締結自治体との一層の交流推進について ① 国分寺市と連携した国分寺跡のデジタル復元（AR：拡張現実やVR：仮想現実） ② 入間市と連携した入間の海の復活や入間産の狭山茶、抹茶の活用 ③ 対岸市や連携協定締結自治体との連携の推進 (5) 生きる力を育む教育改革の推進について ① 妙高型イエナプラン教育の導入、凄すぎて誰にもイエナプラン教育 ② 不登校児童生徒ゼロを目指した教育改革、自由進度学習の推進 ③ 小規模特認校や学びの多様化学校制度を活用したモデル校の設置	室岡 啓史
2	1 医療関係について (1) 佐渡市の医療体制の今後の展望について (2) 医療従事者全体の確保状況や今後の成り手問題について ① JA新潟厚生連佐渡看護専門学校の廃止の影響について ② 理系教育の強化や進路指導との連携について ③ その他の医療従事者の現状把握について (3) 災害時の医療体制について ① 避難所と専門職、特に薬局薬剤師とのつながりについて ② 心理専門職によるグリーフ（喪失）ケアなどについて 2 保育園の送迎における駐停車について (1) 降雪時の安全確保や基本的な在り方について	村川 拓人

順	質 問 事 項	質 問 者
2	(2) 今後の統廃合なども含めた送迎の安全性の考え方について 3 両津・南佐渡のクリーンセンターの今後について 4 佐渡市の組織体制や評価制度について (1) 360度評価について (2) 風通しのよい職場づくりのための具体的施策を問う	村 川 拓 人
3	1 ふるさと納税における米を返礼品とした実績額と、今後の推進方針について 2 朱鷺と暮らす郷づくり認証制度と環境保全型農業直接支払交付金（環直）の今後の推進方針について 認証項目の見直し、秋耕など国・環直メニューの朱鷺と暮らす郷づくり認証制度への拡充検討について 3 多面的機能支払交付金資源向上支払（共同）の令和7年度交付単価について 4 佐渡総合高校が「ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト」で最高賞を受賞した米粉のフォーなど、当市における米粉の活用と消費拡大へ向けた取組について (1) 米粉用米の作付けに対する助成制度について (2) 今後の推進方針について 5 肉用牛の振興について (1) 佐渡島内の畜産振興における大型和牛繁殖支援施設（CBS）の効果と今後の課題について (2) 佐渡島内肥育牛の過去3年間の出荷頭数と今後の推進方針について	坂 下 真 斗
4	1 令和7年度一般会計予算について問う (1) 当初予算概要にある「地域医療の提供体制やライフラインを維持しつつ持続可能な財政基盤を維持して行けるよう、民間の積極的な活用やデジタル化により業務の効率化と組織のスリム化を徹底的に進め、プライマリーバランスゼロを目指した行財政運営の変革に取り組む予算」とは具体的に何をするのか (2) 農林水産政策について ① 令和7年産米の需給調整で生産目標作付面積及び生産数量の目安について ② 佐渡ふるさと島づくり寄付金事業における佐渡市認証米「朱鷺と暮らす郷」について ③ 集落営農・担い手支援事業はどのように進めるか ④ 環境・生物多様性による各種事業により農産物や島のブランド化は一定の成果は得られたが、更なる価値向上のための施策が必要ではないか (3) 中山間地域等直接支払制度（第6期対策）について問う ① 中山間地域等直接支払制度（第5期対策）の評価について ② 将来に向けて農業生産活動が継続的に行われる広域化の体制づくりについて 2 低所得者への支援と生活保護制度について問う (1) 生活困窮者自立支援の相談件数等は令和3年度から減少しているが、原因は (2) 生活保護ケースワーカーは社会福祉法で求められている基準を満たしているか。また、疲弊していないか (3) 家族介護料加算の支給漏れが他市で発生しているが、佐渡市では発生していないか (4) 生活保護対象世帯の把握や受付体制はどのように行われているか	佐 藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
4	(5) 国民健康保険法改正法が施行により、1年以上保険料の滞納が継続する場合、改正前は短期証の交付で対応していたが、12月2日以降、滞納世帯に対し「特別療養費」の運用は、どのようにしているか 3 佐渡市こども計画について問う 107 ページの(17)子育て短期支援事業(ショートステイ)では、保護者が出産・病気・出張等により家庭で児童の養育が困難となった場合、乳児院・児童養護施設等への入所について記載されているが、佐渡市内にこのような施設はあるのか 4 地震発生後の電気火災防止のため「感震ブレーカー」を設置することが推奨されている。設置について補助制度により普及を図るべき	佐 藤 定
5	1 大平高原に建っている旧売店2棟について進展があったか 公衆トイレ工事概算金額 2 真野行政サービスセンターの利活用について (1) 真野ふるさと会館機能を統合できないか (2) 屋内避難所・厨房設備ができないか 3 水道管・下水道管等による陥没事故はないか 4 公共施設内、小中学校校舎内と通学路の除雪ができないか 5 観光客の宿泊・食事場所は足りているか 6 漁港内の使っていない土地を使用して陸上養殖ができないか	山 本 健 二
6	1 避難所の抜本改善と備蓄の強化について 昨年12月に、国は自治体向けの避難所に関するガイドラインを改定した。被災者の権利と被災者支援の最低基準が盛り込まれた (1) 当改定と市の取組について、市長の見解を問う (2) 備蓄品について (3) 避難所運営について 2 柏崎刈羽原発再稼働について “柏崎刈羽原発再稼働の是非を問う”県民投票を実現するために、新潟県に直接請求する署名が15万筆を超えた。また、柏崎刈羽原発の必要性を説く国の説明会は28市町村で2月まで開かれた (1) 当該署名について市長の見解を問う (2) 再稼働是非の判断の今後の対応について	栗 山 嘉 男
7	1 令和7年度予算について (1) 今年度以降の渡辺市政は市政のプライマリーバランスゼロを目指すことを大きな柱にし「佐渡市行政運営改革ビジョン」を明らかにしたが、具体的な進め方 ① プライマリーバランスの定義 ② 相川診療所、すこやか両津、待鶴荘、ときわ荘をはじめとした廃止や民営化計画の内容。民間移行を想定している事業数 ③ 全体の外郭団体数及び外郭団体見直し対象団体数。市予算支出(補助金、負担金など)が50%以上(前後)の団体数 ④ 令和9年度までに公共施設の見直し▲2億円、組織見直しと業務効率化▲5億円、ふるさと納税＋4億円、上下水道使用料値上げ＋3億円等(▲7億円、＋7億円)の具体的計画 (2) 新年度から、文化関連行政が教育委員会から市長部局に移行される。文化財の経年劣化や損傷等についての具体策及び計画はどうなっているか。指定されている文化財以外にも、残すべき文化財も多いが、どうするのか	中 川 直 美

順	質 問 事 項	質 問 者
7	(3) 令和6年人事委員会勧告に伴う地方公務員の給与改定に要する経費（地方負担7千700億円程度）の地方財源確保措置が取られているが、どのようなになっているか 2 地域医療について (1) 新潟県・市の厚生連病院支援内容。今年度以降、県が示していた県立病院などとの「連携・統合・再編」の方向は、佐渡ではどのような形になるのか (2) 将来を見通し、あるべき医療を定めた新潟県の佐渡地域医療構想の病床数よりも208病床少ないが、どうなるか (3) 医療介護施設などの当面の縮小にどう対応するのか 3 改正育児・介護休業法を受け、仕事と介護の両立の支援策について (1) 基本報酬引下げの訪問介護事業所における経営状況、及び村上市のような支援策。ケアマネジャー処遇の調査結果 (2) 要介護度更新で引き下がった場合の利用限度額への上乗せ支援 (3) 各種支援制度の周知徹底や支援策対象基準の緩和が必要 4 地域コミュニティについて (1) 自主防災組織等での弱者支援の現状把握はどうなっているか。また高齢者世帯等の弱者助け合いを組み入れることについて (2) 人口減・高齢化、空き家等が進む中での道路管理における市の役割と責務について	中 川 直 美
8	◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする 1 佐渡市は持続可能な自治体と言えるか 経済ではなく、命ある者の幸せを最優先にすべきではないか (1) 出生数減少の傾向をどう分析しているか (2) 女性を持続可能なまちづくりの原動力として認識しているか ① 女性差別の定義の明確化 ② 女性にとって自由で安心、安全、有意義な社会参加ができているか見える化を求める (3) 職員の長期療養者数の改善への取組と成果について (4) 0～3歳児の貧困問題に重点的な取組を (5) 障がい福祉の発展的な展望を当事者と相談せよ (6) 地区防災計画をいち早く完成させよ (7) 新型コロナワクチン接種に係るmRNAワクチンの被害と予防接種健康被害救済制度についての周知状況 2 佐渡の特別税の導入について (1) 検討委員会の協議の進捗状況は (2) 課税委託先への負担を最小限にする議論はあるか (3) 課税額の指標はいくらで根拠は何か 3 雇用機会拡充事業の適正な実施について (1) 内閣府からの調査に対する報告内容はどのようなものか (2) 雇用機会拡充事業フォローアップ支援業務委託について 4 教育行政について (1) 図書館について ① 開館時間の見直し ② 職員の正規雇用化 (2) 博物館運営について ① 閲覧の迅速かつ的確なサービス提供	荒 井 眞 理

順	質 問 事 項	質 問 者
8	② 学芸員の適正な配置 ③ 収蔵庫の資料整理計画作成 5 道路除雪について、以下について説明を求める (1) 除雪車がいつまでたっても来なかったこと (2) 大きい道路だけ除雪され、横道が除雪されていなかったこと (3) 委託業者の体制は市としてどのような確認をしているか 6 観光の受入態勢 (1) 世界遺産を案内するスーパーガイドの養成 (2) 団体客のための食事の場の不足の解消	荒 井 眞 理
9	1 航空路について (1) 今回の県による佐渡空港整備工事の内容 (2) トキエア佐渡ー成田便の席数と就航時期及び佐渡市の支援内容(出資規模) (3) 成田路線と羽田路線のどちらが佐渡市及び佐渡市民にとって優利か (4) 羽田空港の政策コンテスト枠と新規参入枠の数と、これらはプロペラ機も可能か (5) 離島空港での複数路線の運航事例と、佐渡空港でも成田路線と羽田路線の運航を目指せないか (6) 佐渡新空港2千メートル開設の進捗状況と開設時期 (7) 現佐渡空港を加茂湖に500メートル延伸して、ATR72-600 [70席又は44席+CARGO(農水産物などの貨物輸送)]を就航し、トキエアの当初計画を実現できないか 2 農業政策について 備蓄米放出効果は限定的と考える。実質的減反を一刻も早く廃止して、農業者戸別所得補償制度を実施し、農業経営の安定と国内生産力を確保すべきではないか 3 北方領土問題について ロシアのウクライナ侵攻から3年が経過した。ウクライナのゼレンスキー大統領は、日本の北方領土返還を支持しているが、トランプ大統領とプーチン大統領によるロシアに有利な終戦条件を確定させる「21世紀版ヤルタ会談」が始まったと報じられている。1945年2月11日の「英米ソ」大国主導でのヤルタ協定による北方領土を含む戦後処理について、市長見解を問う	近 藤 和 義